

自動車産業中長期発展計画

2017年4月

[本仮訳文章の利用の注意]

本仮訳は、新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）北京事務所が、中国における政策動向の把握と広報を目的に作成したものである。

内容や誤記を含め、本仮訳文章の利用に伴ういかなる不利益についても、当機構は責を負わない。

内容を引用する際や重要な意思決定の参考とする際には、かならず中国政府の発表している原典資料を参照されたい。

[中国政府による発表文書]

汽车产业中长期发展规划

<http://www.miit.gov.cn/n1146295/n1652858/n1652930/n3757018/c5600356/content.html>

公布機関：工業・情報化部 発展・改革委員会 科学技術部

標 題：工業・情報化部 発展・改革委員会 科学技術部の「自動車産業中長期発展計画」の印刷・配布に関する通知

公布番号：工信部連装〔2017〕53号

作成日：2017年4月6日

公布日：2017年4月25日

文章出典：装備工業司

分 類：装備工業管理 > 自動車工業業界管理

工業・情報化部 発展・改革委員会 科学技術部の「自動車産業中長期発展計画」の印刷・配布に関する通知

各省、自治区、直轄市人民政府、新疆生産建設兵団、国務院の関係部・委員会、直属機構 御中

「自動車産業中長期発展計画」は国務院の同意を得て、ここに印刷、配布する。各位、真摯に徹底して執行されたい。

中華人民共和国工業・情報化部
中華人民共和国国家発展・改革委員会
中華人民共和国科学技術部

2017年4月6日

自動車産業中長期発展計画

自動車産業は新たな科学技術革命および産業の変革を推進するための重要な原動力であり、製造強国を建設するための重要な支えであり、国民経済の重要な支柱である。自動車産業の健全で、持続可能な発展は、人民大衆の日常の外出、社会資源の円滑な流通および生態文明（人間、自然、社会が調和し発展、繁栄するという思想を中心とした環境保護を重視する文明をいう——訳注）の全面的な繁栄に係る。現在、新世代の情報通信、新エネルギー、新素材などの技術と自動車産業の融合が急速に進み、産業生態系は深いレベルでの変革が進み、競争構造は全面的に再構築され、中国の自動車産業は構造転換・高度化、大国から強国への戦略的好機に置かれている。中国共産党、国務院の製造強国の建設に関する戦略的計画を実施し、自動車強国の建設を推進するために、本発展計画を制定する。

一．発展の現状と直面する情勢

（一）中国の自動車産業は著しい発展の成果をあげた

新世紀に入り、中国の自動車産業は急速に発展し、すべての種類が揃い、関連条件が整備された産業体系が構築された。完成車の研究開発能力は著しく向上し、省エネルギー・排出削減の効果は目覚ましく、品質水準は安定して向上し、中国ブランドは急速に成長し、グローバル化発展の能力は次第に向上した。特にここ数年の商用車およびスポーツ用多目的車（SUV）などの細分化された市場において、一定の競争優位性が形成され、新エネルギー自動車の発展は重大な進展を遂げ、育成期から成長期に突入した。2016年に、中国の自動車生産販売台数は2,800万台を突破し、8年連続で世界1位を占めたが、そのうち中国ブランドの自動車の販売台数は50%前後を占め、市場認知度は大幅に向上した。

自動車産業が絶えず発展し、強大化することにより、国民経済におけるその地位および役割は継続的に強化され、経済成長の推進、就業の促進、民生・福祉の改善に著しく寄与した。自動車関連産業の税収の全国の税収における比率、就業者数の全国の都市就業者数における比率、自動車販売額の全国の商品小売販売額における比率のいずれも数年連続で10%を超えた。

また、中国の自動車産業の「大きいが強くない」という問題がなお目立っており、具体的には基幹コア技術の習得が不十分で、サプライチェーンに弱点が存在し、イノベーション体系はなお整備が必要で、国際的なブランドの構築が滞り、企業の実力の強化が早急に必要で、過剰生産能力のリスクが表面化し、商用車の安全性能の向上が必要であ

る。莫大な自動車保有台数がもたらすエネルギー、環境保全、交通などの問題は日増しに顕著になりつつある。

(二) 自動車産業の発展情勢は重大な変化に直面した

製品の形態および生産方式の深いレベルでの変革が進んだ。 エネルギー革命および新素材、新世代の情報技術が絶えず進歩を遂げ、これに伴って自動車製品の**新エネルギー化、軽量化、インテリジェント化およびコネクテッド化**の方向への発展が加速し、自動車は現在、交通手段から大型スマートモバイルデバイス、蓄エネルギーユニットおよびデジタル空間への転換が進みつつあり、乗員、車両、貨物、運営プラットフォームとインフラなどの間のインテリジェント化された相互接続およびデータの共有が実現した。自動車の生産方式は十分に相互連携・協力が進んだスマートマニュファクチャリングに進化し、産業の川上・川下関係はより緊密になり、生産資源は世界水準での効率的な配置が実現し、研究開発・製造の効率は大幅に向上し、カスタマイゼーションモデルが趨勢になると思われる。

新たな需要およびビジネスモデルが急速に誕生した。 インターネットと自動車とが深いレベルで融合することにより、安全な運転・乗車、手軽で便利な外出、移動オフィス、ローカルサービス、娯楽・レジャーなどの需要が非常に拡大し、ユーザーエクスペリエンスは自動車消費に影響を及ぼす重要な要素になった。インターネット上のソーシャルネットワークの消費に対する指導的役割が次第に強くなり、消費需要の多様化の特徴は日増しに顕著になり、高齢化および新世代の利用者の比率は継続的に上昇し、移動手段の共有、カスタマイズサービスが主な方向性になった。

産業構造および産業体系は深いレベルの調整が進んだ。 自動車先進国は次々に産業高度化戦略を掲げ、産業のイノベーションおよび融合的発展の推進を加速した。発展途上国も体制を強化し、コスト、市場などの優位性を利用し、国際的な産業と資本の移転を積極的に引き受けた。中国は改革の深化を全面的に推し進め、自動車産業のグローバル化発展の歩みは加速した。産業間の境界は日増しに曖昧になり、インターネットなどの新興科学技術企業が**大挙して自動車業界に参入した**。伝統企業と新興企業が競合、融合しながら発展し、バリューチェーン、サプライチェーン、イノベーションチェーンに大きな変化が生じ、国際的な自動車産業生態系は現在再構築が進んでいる。

(三) 自動車強国の建設のための比較的好ましい基盤および有利な条件が整えられた

新エネルギー自動車とインテリジェント・コネクテッド・ビークルは主導権を握り、追いつき追い越す発展を実現するための突破口になることが期待される。 現在、中国の新エネルギー自動車の技術水準は大幅に向上し、産業規模は急速に拡大し、サプライチェーンは日増しに整備されている。自動車のインテリジェント化、コネクテッド化の発展を支える情報技術産業の実力は絶えず強化され、インターネット産業は全世界におい

て一定の優位を占め、情報通信分野の技術および規格の国際的な発言力は大幅に高まり、北斗衛星測位システムによる全世界をカバーするネットワークの構築が間もなく実現する。

巨大な潜在力を有し、層が厚い市場需要は産業の発展のために継続的な原動力と上昇の余地を与えた。新型の工業化および都市化の推進が加速し、海外の新興自動車市場が発展するにつれて、中国の自動車生産台数はなお安定成長を維持し、2020年に3,000万台前後に達し、2025年には3,500万台前後に達すると見られている。メンテナンス、金融・保険、中古車などのアフターマーケットの規模は急速に拡大すると思われる。また、差別化、多様化された消費需要は、企業が技術、製品、サービス、規格など多方面においてイノベーションによる発展を推進し、新興分野における発展の主導権を握ると思われる。

製造強国戦略の実施および「一带一路（シルクロード経済帯と21世紀海上シルクロード——訳注）」建設は産業の発展のための重要な支えになり、発展の機会を提供した。スマートマニュファクチャリングの普及は産業の構造転換・高度化を強力に推進し、工業基盤プロジェクトの実施により基盤技術の基礎を固め、「一带一路」建設は海外の発展ルートをより円滑にし、沿線市場の開発をより簡便にし、自動車産業が優位性のあるその他の産業と協同し、世界的な体制、国際的な発展を実現する仕組みが早急に構築されると思われる。

自動車強国を建設するには、目の前の貴重な戦略的機会を着実に掴み、課題に積極的に対応し、統一的な計画を強化し、イノベーションによる駆動を強化し、境界を超えた融合を促進し、体制・仕組みを整備し、構造調整および構造転換・高度化を推進しなければならない。

二. 指導思想、基本原則および計画目標

(一) 指導思想

中国共産党第18回全国代表大会および第18期中央委員会第3回、第4回、第5回、第6回全体会議の精神を踏み込んで徹底し、イノベーション、協調、グリーン、開放、共有の発展理念を堅固に確立し、徹底して実施し、大衆による起業、万人によるイノベーションを推進し、自動車産業のサプライサイド構造改革を推進し、総量を調整・制御し、構造を最適化し、協同によるイノベーションを実施し、構造転換・高度化を図る。法制化を強化し、業界内外の協同によるイノベーションの推進を指針とし、産業の発展のための環境の最適化を図る。新エネルギー自動車およびインテリジェント・コネクテッド・ビークルを突破口とし、産業の構造転換・高度化を誘導する。中国ブランド自動車の強大化を中心とし、国際競争力を有する企業グループを育成する。「一带一路」建設を契機とし、世界的な体制および産業体系のグローバル化を推進する。総量を制御

し、環境を最適化し、品質を高め、ブランドを創出し、構造転換を促進し、効果を高め、自動車産業の発展の規模・スピード型から品質・効果型への転換を推進し、自動車大国から自動車強国への転換を実現する。

(二) 基本原則

イノベーション主導、重点突破。イノベーション主導型発展戦略を踏み込んで実施し、バリューチェーンを踏まえ、イノベーションチェーンを手配し、イノベーションチェーンを踏まえ、資源チェーンを配置し、政府、企業、大学、科学研究機関、利用者による協同イノベーション体系を整備し、技術、管理、体制およびモデルなどのイノベーションを推進し、イノベーション能力を全面的に高め、重点分野および基幹段階における目覚ましい進展を実現する。

協調発展、互惠協力。設計、製造およびサービスの一体化の推進を加速し、製品ライフサイクルにおけるネットワークによる協同を実現する。完成車企業と部品企業の協力モデルを刷新し、サプライチェーン全体の協同による発展を推進する。情報通信、エネルギー・交通、材料・環境保全などと自動車産業の深いレベルの融合を誘導し、新型の産業生態系を構築する。

市場主導、政府誘導。資源配分における市場の決定的役割および政府のマクロコントロール・誘導的役割を発揮させ、法制度を整備し、品質優先を堅持し、法的責任を明確にし、産業の発展の秩序を適正化し、企業の主体としての地位を際立たせ、併合・再編を奨励し、産業配置を最適化し、特色と優位性のある産業クラスターの発展を推進する。

開放・包摂、競争と協調による発展。投資および製品の参入管理を最適化し、開放・協力を踏み込んで実施し、統一的かつ開放的で、秩序正しい競争のための好ましい市場環境を醸成する。優位性のある企業がグローバル化発展理念を堅固に確立し、2種類の資源、2つの市場を統一的に利用し、海外進出を積極的に進め、世界市場への参入を加速することを奨励する。

(三) 計画目標

10年の継続的な努力を経て、世界の自動車強国の仲間入りを果たす。

一基幹技術について重大な進歩を遂げる。産業イノベーション体系を絶えず整備し、企業のイノベーション能力を著しく高める。動力システム、効率的な伝動システム、カーエレクトロニクスなどの省エネルギー技術を国際先進水準とし、動力電池、駆動用モーターなどの基幹コア技術を国際先端水準とする。2020年までに、世界上位10位以内に入る複数の新エネルギー自動車企業を育成し、インテリジェント・コネクテッド・ビークルの発展が世界と足並みを揃えるようにする。2025年までに、新エネルギー自動車

の中堅企業の国際的影響力および市場シェアをさらに高め、インテリジェント・コネクテッド・ビークルを世界先進水準に押し上げる。

—**サプライチェーン全体の安全で制御可能な状態を実現する。**自動車用センサー、車載チップなどの先進的なカーエレクトロニクスおよび軽量の新材料、ハイレベル製造装備などのサプライチェーンの弱点を克服し、国際競争力を有する部品業者を育成し、部品から完成車までの完全な産業体系を構築する。2020年までに、1,000億を超える規模の複数の自動車部品企業グループを育成し、一部の基幹コア技術分野において比較的高い国際競争力と優位性を持たせる。2025年までに、世界上位10位以内に入る複数の自動車部品企業グループを育成する。

—**中国ブランド自動車を全面的に発展させる。**中国ブランド自動車製品の品質を著しく高め、ブランド認知度、製品好感度および国際的影響力を著しく高め、比較的高い国際競争力を有する企業およびブランドを育成し、国際的な産業の役割分担およびバリューチェーンにおける地位を著しく高め、新エネルギー自動車分野において国際的なイノベーションを誘導する能力を構築する。2020年までに、複数の国際的に有名な自動車ブランドを育成し、商用車の安全性能を大幅に高める。2025年までに、若干の中国ブランド自動車企業の生産販売台数を世界上位10位以内とする。

—**新型の産業生態系を基本的に構築する。**研究開発・設計、生産・製造、物流・配送、マーケティング、カスタマーサービスを一体化したインテリジェント化への構造転換を完了し、人、車および環境施設のインテリジェント化された相互接続およびデータの共有を実現し、自動車と新世代の情報技術、高度道路交通システム、エネルギー、環境保護などが融合的に発展する新型のスマート産業体系を構築する。2020年までに、インテリジェント化水準を著しく高め、自動車アフターマーケットおよびサービス業のバリューチェーンにおける比率を45%以上とする。2025年までに重点分野におけるインテリジェント化を全面的に実現し、自動車アフターマーケットおよびサービス業のバリューチェーンにおける比率を55%以上とする。

—**グローバル化発展の能力を著しく高める。**国内外の2種類の資源を統一的に利用し、技術から資本、マーケティング、ブランドなどの多様で、深いレベルの協力モデルを構築し、企業の国際的な経営能力を著しく高める。2020年までに、中国ブランド自動車の先進国向け輸出を段階的に実現する。2025年までに、中国ブランド自動車の国際的影響力をさらに高める。

—**グリーン（環境配慮型）発展水準の大幅な向上を図る。**自動車の省エネルギー・環境保護水準およびリサイクル率を絶えず高める。2020年までに、新車平均燃料消費量を乗用車で5.0L/100kmに、省エネルギー型自動車で4.5L/100km以下に削減し、商用車を国際先進水準に近づかせ、国6排出基準を実施し、新エネルギー自動車のエネルギー消

費量を国際先進水準とし、自動車のリサイクル可能率を95%とする。2025年までに、新車平均燃料消費量を乗用車で4.0L/100kmに削減し、商用車を国際先端水準に、排出を国際先進水準に到達させ、新エネルギー自動車のエネルギー消費量を国際先端水準に到達させ、自動車の実際のリサイクル率を国際先進水準に到達させる。

三. 重点任务

(一) イノベーション体系を整備し、自主的発展の原動力を強化する。

イノベーション能力の強化を産業競争力の向上のための中心段階とすることを堅持し、イノベーション駆動型発展を指針とすることを堅持し、イノベーション体系を整備し、コア技術の難題への取組みを強化し、プラットフォームサービス能力を高め、自主的発展の原動力を強化する。

1. **イノベーション体系を整備する。** トップダウン設計と動的評価を強化し、部門が協調・連動し、関連産業をカバーする協同によるイノベーションの仕組みを構築、整備する。企業を主体とし、市場を指針とし、企業、大学、科学研究機関、利用者からなる技術革新体系を整備し、マトリックス型の研究開発能力の体制および産業の垣根を超えた協同プラットフォームを構築し、大衆による起業、万人によるイノベーションを推進し、体系的な技術革新能力を構築する。技術革新における企業の主体としての役割を十分に発揮させ、高水準の企業技術センターの建設を支援する。企業、科学研究機関、大学などのイノベーション主体がサプライチェーンを踏まえ、イノベーション資源を配置し、動力電池、インテリジェント・コネクテッド・ビークルなどの自動車分野の製造業イノベーションセンターを建設することを奨励する。自動車産業連合基金などを拠りどころとし、イノベーション要素がサプライチェーンの中のハイレベルで優位性のある企業に集中的に流動することを推進する。

2. **コア技術の難題への取組みを強化する。** 省エネルギーと新エネルギー自動車、インテリジェント・コネクテッド・ビークルの技術ロードマップを公布、実施し、短、中、長期目標を明確にする。イノベーション主体が完成車および部品のシステム統合、パワートレイン、軽量化、先進的なカーエレクトロニクス、自動運転システム、基幹部品のモジュール化の開発製造、コアチップおよび車載オペレーティングシステムなどの基幹コア技術の難題に共同で取り組み、より多くの基礎技術、基盤技術を効果的に提供するよう誘導する。燃料電池自動車、インテリジェント・コネクテッド・ビークル技術の研究開発を強化し、カーシェアリング、高度道路交通システムなどの関連技術の融合および応用を支援する。

3. **サポートプラットフォームのサービス能力を高める。** 技術規格、テスト評価、インフラ、国際協力などの産業サポートプラットフォームの構築を推進し、完成車および部品の技術規格体系を整備し、産業の発展を支える体系的なサービス能力を構築する。認

証検査測定能力を高め、自動車開発データベース、エンジニアリングデータセンターおよび専利データベースの構築を推進し、企業にイノベーションのための知識およびエンジニアリングデータの開放・共有サービスを提供する。比較的好ましい基盤を有し、イノベーション能力が高く、成長性の高いサプライチェーンサービス型企業の発展を重点的に支援する。

コラム1 イノベーションセンター建設プロジェクト

省エネルギー自動車、純電気自動車およびプラグインハイブリッドカー、水素燃料電池自動車、インテリジェント・コネクテッド・ビークル、自動車用動力電池、自動車の軽量化、自動車製造などの技術ロードマップを制定し、自動車および関連業界が既存のイノベーション資源を自主的に統合し、共同で難題に取り組み、開放的かつ共有可能なイノベーションプラットフォームを構築し、研究開発への投資を強化し、先端技術および基盤基幹技術の研究開発を共同で実施し、技術成果の移転・拡散および初の商業化を推進し、業界、企業向けに公共技術サービスを提供する。

2020年までに、動力電池、インテリジェント・コネクテッド・ビークルなどの自動車分野の製造業イノベーションセンターを完成させ、円滑な運用を実現する。2025年までに、イノベーションセンターが産業の発展に効率的に寄与し、比較的高い国際競争力を備えるようにする。

(二) 基礎能力を強化し、サプライチェーン体系を徹底させる。

産業基盤および先進設備は自動車強国を建設するための重要な支えである。安全で制御可能な自動車部品の基盤を固め、先進的な製造設備の発展に注力し、サプライチェーン全体の協同・統合能力を高める。

1. 関連部品体系の基盤を固める。工業基盤強化プロジェクトを拠りどころとし、優位性のある資源を集中し、自動変速器、エンジン電子制御システムなど基幹コア部品を優先的に発展させ、汎用化、モジュール化などのボトルネックの問題を重点的に克服する。業界において優位性のある中堅企業が科学研究機関、大学などとともに産業技術革新連盟を結成するよう誘導し、部品プラットフォームの研究開発、先進製造および情報化サポート能力の育成を加速する。部品企業がハイレベル化、グループ化、グローバル化の方向に発展するよう誘導し、任意製品認証を推進し、部品イノベーション型産業クラスターの発展を奨励し、安全で制御可能な関連部品体系を構築する。

2. 先進的な自動車用材料および製造設備を発展させる。国家科学技術計画（特別プロジェクト、基金など）を拠りどころとし、自動車業界が原材料などの関連業界との協力を強化し、高強度鋼、アルミニウム合金高真空ダイカスト、半固形および粉末冶金成形部品の産業化および量産時の応用研究を共同で実施し、マグネシウム合金、レアアースを含むマグネシウム（アルミニウム）合金の応用を加速し、高性能エンジニアリングプラスチック部品、複合材料の応用範囲拡大を誘導する。業界内企業が高強度軽量車体、

基幹アセンブリおよびその精密部品、モーター、電力駆動システムなどの基幹部品の製造技術の難題への取組みを強化し、完成車製造工程、基幹アセンブリおよび部品などの先進的な製造設備の統合・イノベーションおよび工学的応用を実施することを奨励する。安全で制御可能なデジタル開発、高性能 NC 工作機械、検査測定、物流の自動化などの先進的なハイレベル製造設備の研究開発および普及を推進する。3D プリンター、仮想現実 (VR) と拡張現実 (AR)、モノのインターネット、ビッグデータ、クラウドコンピューティング、ロボットおよびそのアプリケーションシステムなどのスマートマニュファクチャリングサポート技術の自動車製造設備における踏み込んだ応用を加速する。

3. サプライチェーン全体の協同的かつ効率的な発展を推進する。 新型の「完成車-部品」協力関係を構築し、産業技術革新連盟のコストの共同負担、利益共有・協力の仕組みを模索、最適化し、完成車の中堅企業と優位性のある部品企業が研究開発、調達などの面で深いレベルで協力し、安全で制御可能な基幹部品体系を構築することを奨励する。国家科学技術計画（特別プロジェクト、基金など）プロジェクトの選定傾向の適正化を推進し、基幹部品の産業化および「完成車-部品」関連プロジェクトの審査指標を制定し、完成車および部品企業の協同による発展を奨励する。基幹部品および「4つの基礎（コアとなる基礎部品、先進的な基礎工程、重要な基礎材料、産業技術の基礎——訳注）」の脆弱な段階における難題に共同で取り組み、企業のインテリジェント化改造・向上を推進し、サプライチェーン全体の協同による発展を促進する。

コラム2 基幹部品重点克服プロジェクト

優位性・特色のある部品企業の強大化を支援し、国際競争力を有する部品のリーディングカンパニーを育成する。産業の弱点に対して、優位性のある企業が政府、企業、大学、科学研究機関、利用者と共同で難題に取り組み、動力電池、自動車用センサー、車載チップ、電子制御システム、軽量化材料などのプロジェクト化、産業化のボトルネックの問題を重点的に克服することを支援し、モジュール納入などの先進的なモデルおよび高付加価値、知識集約型などのハイレベル部品の発展を奨励する。

2020年までに、一部の基幹コア技術分野において比較的高い国際競争力を有する複数の自動車部品企業グループを育成する。2025年までに、生産額の規模が世界上位10位以内に入る複数の自動車部品企業グループを育成する。

（三）重点分野を克服し、産業の構造転換・高度化を誘導する。

自動車先進技術を大いに発展させ、新エネルギー自動車、インテリジェント・コネクテッド・ビークルおよび先進的な省エネルギー自動車に関する、段階が適正な産業構造および完全な関連産業体系を構築し、自動車産業の構造転換・高度化を誘導する。

1. 新エネルギー自動車

新エネルギー自動車技術の研究開発および産業化を加速する。企業の投資、社会資本、国家科学技術計画（特別プロジェクト、基金など）を利用し、企業、大学、科学研究機関などを統一的に組織し、共同で難題に取り組み、動力電池と電池管理システム、

モーター駆動と電力・電子アセンブリ、電気自動車インテリジェント化技術、燃料電池動力システム、プラグイン／エクステンデッドレンジハイブリッドシステムおよび純電気動力システムなどの6種類のイノベーションチェーンについて重点的に任務を手配する。

動力電池高度化プロジェクトを実施する。動力電池イノベーションセンターおよび動力電池産業イノベーション連盟などのプラットフォームの役割を十分に発揮させ、動力電池の基幹材料、単体電池、電池管理システムなどの技術の難題に共同で取り組み、動力電池の画期的な進歩の実現を加速する。

新エネルギー自動車の普及・応用を強化する。公共サービス分野における新エネルギー自動車の使用比率を段階的に引き上げ、私的分野における新エネルギー自動車の応用規模を拡大する。充電インフラの構築を加速し、便利で効率的で、適度に先を見据えた充電ネットワーク体系を構築する。新エネルギー自動車の普及・応用、とりわけ使用段階における支援政策体系を整備し、購入の奨励から便利な利用に移行し、新エネルギー自動車の発展を促進するための長期的に効果のある仕組みを構築し、生産企業が新エネルギー自動車の生産販売比率を絶えず高めるよう誘導する。新エネルギー自動車の規格体系を絶えず整備し、新エネルギー自動車生産企業および製品の参入基準を引き上げ、出荷時の安全性能検査を強化し、新エネルギー自動車生産の管理監督を強化し、新エネルギー自動車の分類別登録登記、交通管理、税制・保険、車両のメンテナンス、中古車管理などの政策体系を構築、整備する。燃料電池自動車の試行・モデルプロジェクトの範囲を段階的に拡大する。

コラム3 新エネルギー自動車研究開発および普及・応用プロジェクト

駆動用モーターおよび制御システム、電気-機械結合装置、エクステンデッドレンジエンジンなどの基幹技術を掌握し、動力電池、燃料電池のサプライチェーン全体の技術の難題への取り組みを支援し、画期的な進歩を実現し、新エネルギー自動車の完成車の統合制御水準および前向きな開発能力を大幅に高め、企業による先進的で適正な新エネルギー自動車製品の開発を奨励する。便利で、効率的で、適度に先を見据えた充電ネットワーク体系を構築し、新エネルギー自動車安全モニタリングプラットフォームを構築し、新エネルギー自動車の普及・応用のための支援政策体系を整備する。

2020年までに、新エネルギー自動車の年間生産販売台数を200万台とし、動力電池単体の比エネルギーを300Wh/kg以上とし、350Wh/kgを実現するよう努め、システムの比エネルギーを260Wh/kgとし、コストを1元/Wh以下に削減するよう努める。2025年までに、新エネルギー自動車の自動車生産販売台数の全体に占める比率を20%以上とし、動力電池システムの比エネルギーを350Wh/kgとする。

2. インテリジェント・コネクテッド・ビークル

インテリジェント・コネクテッド・ビークルの基幹技術の難題への取り組みを強化する。インテリジェント・コネクテッド・ビークル連盟、自動車産業連合基金などの役割

を十分に発揮させ、産業の垣根を超えた協同イノベーションの仕組みを絶えず整備し、環境検知、インテリジェント意思決定、協同制御などコア基幹技術を重点的に攻略し、センサー、車載端末、オペレーションシステムなどの研究開発と産業化を促進する。中国のインテリジェント・コネクテッド・ビークルの通信用周波数を検討の上確定し、関連のプロトコル・規格を公布し、車両とプラットフォームの間のデータ交換フォーマットとプロトコルを規範化し、車載インテリジェント設備と車両の間のインターフェイス、車両のネットワークの安全などの関連技術規格を制定する。インテリジェント自動車と周囲環境および施設のユビキタスネットワークを促進し、安全が保障された前提の下で、資源の統合およびデータの開放・共有を実現し、ブロードバンドネットワークインフラの建設および複数の業界の共同でのインテリジェント・コネクテッド・ビークルビッグデータ交換プラットフォームの構築を推進する。

インテリジェント・コネクテッド・ビークルの試行・普及を実施する。テスト評価体系を公布し、段階に分けて、順序に従ってインテリジェント・コネクテッド・ビークルの応用試行を推進し、段階的に試行範囲を拡大する。モデル区において環境のテスト、検証および関連データの収集・分析、管理監督などのプラットフォームを構築し、インテリジェント・コネクテッド・ビークル製品性能検証の試行と評価を集中的に実施し、インテリジェント・コネクテッド・ビークルとインターネット、モノのインターネット、高度道路交通システムネットワーク、スマートグリッドおよびスマートシティなどの情報交流および協同の仕組みを構築し、中国の国情に適した、多分野が連携するインテリジェント・コネクテッド・ビークルイノベーション発展モデルを模索する。インテリジェント・コネクテッド・ビークルの法令体系の構築の推進を加速し、安全責任主体の境界、ネットワークの安全保障など法的要求事項を明確にする。

コラム4 インテリジェント・コネクテッド・ビークル推進プロジェクト

インテリジェント・コネクテッド・ビークルの技術革新を推進し、基幹部品の研究開発の推進に注力し、センサー、制御チップ、北斗衛星測位システムの高精度測位、車載端末、オペレーションシステムなどのコア技術の研究開発および産業化を重点的に支援する。応用試行およびモデルプロジェクトの実施を手配し、テスト評価体系、法令体系を整備する。

2020年までに、自動車DA（運転支援）、PA（一部自動運転）、CA（条件付き自動運転）システムの新車装着率を50%超とし、コネクテッド型運転支援システムの装着率を10%とし、スマート交通都市建設の需要を満たす。2025年までに、DA、PA、CAシステムの新車装着率を80%とし、そのうちPA、CAシステムの新車装着率を25%とし、高度および完全自動運転自動車の市場参入を開始する。

3. 省エネルギー自動車

自動車の省エネルギー・環境保護技術の研究開発および普及を強化する。先進的なガソリン自動車、ハイブリッド自動車および代替燃料自動車の研究開発を推進し、完成車

の軽量化、ハイブリッド化、効率的な内燃機関、先進的な変速機、アイドリングストップ、先進的な電子・電気機器、空気力学的最適化、排気ガス処理装置などの基幹技術を克服する。自動車燃料消費量、環境保護基準に関する要求事項を絶えず引き上げ、中重型商用車の省エネルギー・排出削減に対する市場の管理監督を強化する。省エネルギー自動車の普及の仕組みを整備し、自動車燃料消費量限度値規格、標識規格および税制優遇政策などを通して、軽量化、小型化乗用車の研究開発および消費を誘導する。天然ガス、バイオマスなどの資源が豊富な地域における代替燃料自動車の普及を奨励し、自動車出荷時のガソリン・ガス兼用の表示を認め、試行および普及・応用を実施し、自動車用エネルギーの多様化を促進する。

コラム5 先進的な省エネルギー環境保護自動車技術向上プロジェクト

既存の資金ルートを拠りどころとし、規定に従って共同で難題に取り組むプラットフォームを構築し、先進的なエンジン、ハイブリッド、先進的な電子・電気機器などの乗用車の省エネルギー・環境保護技術およびコモンレール式高圧燃料噴射システム、高性能ハイブリッドパワートレイン、効率的な排気ガス処理装置などの商用車の省エネルギー・環境保護技術を重点的に攻略する。省エネルギー自動車の車両船舶税の優遇措置、自動車消費税などの税制政策を通じて、小排気量省エネルギー型乗用車の消費を誘導、奨励する。

2020年までに、乗用車の新車平均燃料消費量を5L/100km、アイドリングストップなどの省エネルギー技術の応用率を50%超とする。2025年までに、乗用車の新車平均燃料消費量を2020年より20%削減し、アイドリングストップなどの省エネルギー技術の一般的な応用を実現する。

(四) 境界を超えた融合を加速し、新型の産業生態系を構築する。

境界を超えた融合、開放的な発展を堅持し、インターネットと自動車産業の深いレベルの融合を方向性とし、スマートマニュファクチャリングの推進を加速し、外出サービスの多様化を推進し、自動車製品ライフサイクルにおけるグリーン発展を促進し、ユビキタスネットワーク、協同・効率性、動的検知、インテリジェント意思決定を実現する新型のスマート産業生態系を構築する。

1. スマートマニュファクチャリングを大いに推進する。デジタル工場、インテリジェント工場、スマート工場の建設を推進し、原材料サプライチェーン、完成車製造生産チェーン、自動車販売サービスチェーンの融合を図り、カスタマイゼーションを実現する。企業が研究開発・設計、生産・製造、物流・配送、マーケティング、アフターサービス、企業管理などの段階におけるデジタル、インテリジェントシステムの普及・応用を誘導する。自動車専用製造装備、工程、ソフトウェアなどの基幹技術の難題に重点的に取り組み、大規模な普及・応用が可能な設計、製造、サービスの一体化モデルプラットフォームを構築し、製品ライフサイクル全体を貫く協同管理システムの構築を推進

し、設計の可視化、製造のデジタル化、サービスのリモート化を推進し、個人適応型消費の要求を満たし、企業の質と効率の向上を実現する。

2. 自動車アフターマーケットおよびサービス業の発展を加速する。自動車企業が情報、通信、電子およびインターネット業界の企業と積極的に協力し、クラウドコンピューティング、ビッグデータなどの先進技術を十分に利用し、利用者の業務、生活および娯楽などの多様な需要を開拓し、外出およびサービスモデルを刷新し、サプライチェーンの川下方向への拡大、バリューチェーンの高価値方向への拡大を促進し、交通・物流、移動手段の共有、ユーザーインタラクション、情報の利用などの要素を含むネットワーク状の環境を拡大するよう誘導する。自動車企業の生産サービス型への転換を推進し、製品中心から顧客中心への発展を実現し、企業の製品提供からソリューション提供への転換を支援する。自動車金融、中古車、メンテナンス、自動車リースなどのアフターマーケットサービスの発展を奨励し、サードパーティーロジスティクス、電子商取引、キャンピングカーが乗り入れ可能なキャンプ場などのその他関連サービス業の並行的な発展を促進する。

3. ライフサイクルにおけるグリーン発展を推進する。グリーン発展理念により自動車製品の設計、生産、使用、回収などの各段階を誘導し、企業、産業パーク、業界間の連携・共生、原料の相互供給、資源の共有を促進する。自動車製品環境配慮デザイン評価基準を制定、公布し、統一的な自動車グリーン製品規格、認証標識体系を構築する。既存の資金ルートを掘りどころとし、規定に従って自動車製造設備のグリーン改造を支援し、グリーン製造の技術革新および産業応用モデルを推進する。自動車分野におけるグリーンサプライチェーンの構築を推進し、生産企業は設計生産段階で環境に配慮したデザイン案を採用し、製品が十分に分解可能で、回収可能であることを確保しなければならない。自動車部品の再製造範囲を段階的に拡大し、リサイクル効率および効果を高める。拡大生産者責任制度を実施し、動力電池リサイクル管理規則を制定し、動力電池のカスケード利用を推進する。

コラム6 「自動車+」クロスボーダー融合プロジェクト

企業の研究開発・設計、生産・製造、物流・倉庫保管、経営管理、アフターサービスなどの基幹段階におけるインテリジェント、デジタル技術の深いレベルの応用を推進し、生産設備および生産過程のインテリジェント化水準を絶えず高め、十分に相互連携・協力が進んだスマートマニュファクチャリングの構築を推進する。分野の垣根を超えたビッグデータの応用を踏まえ、外出およびサービスモデルを刷新し、自動車企業の生産サービス型への転換を推進する。自動車産業のグリーン改造による高度化の推進を加速し、グリーン製造体系を積極的に構築する。

2020年までに、インテリジェント化水準の大幅な向上を図る。2025年までに、中堅企業の研究開発、生産、販売などの一体的なインテリジェント化への転換を全面的

に実現し、主な製品の歩留まりを世界先進水準とする。今後の10年間に、自動車サービス業のバリューチェーンにおける比率を年平均で2ポイント上昇させる。

(五) 品質のブランド価値を高め、国際的なリーディングカンパニーを育成する。

品質向上およびブランド構築を産業競争力の向上のための根本的な要求事項とすることを堅持し、品質管理を厳格にし、ブランド育成を強化し、企業改革を推進し、国際競争力を有するリーディングカンパニーを育成する。

1. 品質管理能力を高める。自動車企業による技術の研究開発、品質保証、コスト管理、マーケティングサービスなどの能力の構築を推進し、企業の製品の総合的な競争力を強化する。自動車企業が信頼性設計、試験と検証技術の開発応用を強化し、前期の計画策定、中期の管理監督、販売後のフィードバックを含む品質管理クローズドループシステムを構築し、製品品質規格体系を制定、整備し、品質責任保証の仕組みを整備し、認証検査測定高技術サービス業の役割を發揮させ、ライフサイクルの品質管理および追跡の仕組みを整備するよう誘導する。企業が品質向上計画を実施し、サービス水準の全面的な向上を突破口とし、自動車故障率の低下および安定した排出基準の達成を業務目標とし、インターネット、ビッグデータなど先進技術を十分に利用し、自動車品質の動的評価システムを構築し、製品品質およびサービス能力を継続的に高めるよう誘導する。

2. ブランドの育成を強化する。ブランド育成意識の向上を図り、企業がブランド戦略を実施し、中国ブランド自動車の競争力の基盤を固め、中国自動車ブランドのコンセプト設計および普及業務を強化し、ブランド価値を高めるよう誘導する。中国自動車ブランドの構築を促進する組織の設立および仕組みの構築を推進し、国際的な産業協力、重大な活動などの機会を十分に利用し、中国自動車ブランドを普及する。業界団体が中国の自動車産業の特色に適した特色ある品質ブランド評価体系を検討、構築し、自動車ブランド評価の国際的な新秩序の構築を積極的に推進するよう誘導する。既存の自動車産業集積区域を改造、高度化し、産業集積から産業クラスターへの構造転換・高度化を推進する。産業と金融の協力を緊密にし、優位性のある企業による国際的有名ブランドの買収および運営管理を支援する。

3. 企業の発展のための活力を刺激する。国有企業の内部統治および管理監督の仕組みを整備し、市場経済に適応する経営の意思決定、人材雇用、業績考課、収入分配などのインセンティブ・制約の仕組みの構築を加速し、国有企業の考課時に研究開発への投資を比率に基づいて利益に換算する方式を推進する。混合所有制改革を着実に推進し、市場化手段およびさまざまなモデルを通じて、国有企業およびその他非公有制企業の生産能力、ルート、投融資などにおける協力を実現する。社会監督の仕組みの役割を十分に

発揮させ、政府投資責任追及制度を実施し、民間資本、新興科学技術企業などが法により規則に従って自動車分野に参入するよう誘導する。

4. **リーディングカンパニーを育成する。** 優位性・特色のある企業が強大化を図り、比較的高い国際競争力を有する自動車リーディングカンパニーに成長することを支援し、技術革新に関する優位性のある部品、チェーン経営メンテナンス企業、自動車コンサルティングサービス企業を積極的に育成し、「小さな巨人」に成長させる。企業を中心とする国内外の秩序ある再編・統合、企業買収および戦略的協力を支援し、企業のグローバル化を奨励する。自動車産業のサプライチェーン内および産業の垣根を超えた資本、技術、生産能力、ブランドなどの協力モデルを奨励し、優位性のある企業が相互持株、戦略的連携などの方式による強者同士の結合を支援し、産業集中度を絶えず高める。

コラム7 自動車品質ブランド構築プロジェクト

中国自動車の品質ブランド育成および発展の仕組みを構築、整備し、業界団体が中国自動車ブランド評価基準体系を構築、普及し、自動車ブランド価値専門評価業務を実施することを奨励し、業界内企業がブランド育成を強化するよう誘導する。優位性のある企業が国際的有名自動車ブランドおよび企業の買収を通じて、ブランド育成において飛躍的な発展を遂げることを奨励する。

2020年までに、中堅自動車企業の研究開発経費の営業収入に占める比率を4%前後とし、新車平均故障率を2015年より30%削減し、複数の国際的に有名な自動車ブランドを育成する。2025年までに、中堅自動車企業の研究開発経費の営業収入に占める比率を6%前後とし、中堅企業の新車平均故障率を国際的一流ブランドと同等の水準になるようにし、複数の中国ブランド自動車企業の生産販売台数が世界上位10以内に入るようにする。

(六) 開放・協力を踏み込んで実施し、グローバル化発展の能力を高める。

グローバル化発展を自動車産業の持続可能な発展のための重要な保障措置とすることを堅持し、サービス保障体系を整備し、国際的な経営能力を高め、国際協力を強化し、中国の自動車産業の世界市場への参入の推進を加速する。

1. **「海外進出」の歩みを加速する。** 自動車企業がグローバル化発展のための戦略理念を確立し、グローバル化発展戦略を制定するよう誘導する。多国・二国間協力およびハイレベル対話の仕組みの役割を発揮させ、産業協力の全体的枠組みおよび支援政策協定の完成を促進する。海外投資管理改革を踏み込んで実施し、「自動車産業国際協力绿色通道（手続きの簡便化、省略、優先的な処理などにより短時間で完了させることができるルート——訳注）」を構築する。「一帯一路」建設、生産能力に関する国際協力などの機会を十分に活かし、世界市場の開拓を強化する。優位性のある企業が差別化された発展戦略を選択し、輸出貿易中心から投資、技術、管理など深いレベルの協力モデルに段階的に転換し、製品、サービス、技術および規格に関する協同の「海外進出」を実現することを奨励する。完成車企業が部品企業と協同で重点発展地域を選択し、自動車産

業団地を建設し、科学的に配置され、連携して発展する産業構造を構築することを支援する。中国ブランド自動車と国際プロジェクトの「協同の海外進出」を推進する。

2. グローバル化サービス体系を整備する。 業界団体が自動車産業海外発展連盟の結成を推進し、政策法規、知的財産権および認証などの分野における体系的サービス能力の育成を重視することを奨励する。国内外の資源を統合し、業界内企業が自動車産業海外発展基金を自主的に設立し、関連国および地域の政府と社会資本が共同で、多元的で、市場化された資金保障体系を構築することを推進する。銀行業・金融機関が商業の持続可能な発展の原則に基づいて、自動車企業の海外での発展に適応する貸付管理および貸付審議制度を制定し、多層的な自動車産業海外投資保証体系の構築を加速することを奨励する。国内の金融および保険組織による越境サービス体系の構築を促進し、海外における自動車ファイナンスリースおよび関連の保険業務を模索する。先進国、とりわけ「一带一路」国および地域の規格、認証および検査・管理監督などの制度の検討を強化し、国際的な貿易障壁の問題を効果的に解決する。国内資源を統合し、中国と外国の政府間の自動車品質安全管理監督制度に関する交流と協力を促進し、並行輸入などのさまざまな貿易方式に対する管理監督体制を整備する。

3. 国際的な経営能力を高める。 既存の政策の誘導的役割を十分に発揮させ、企業が国際協力を実施し、国際的に優位性のある資源を十分に利用し、研究開発センターを設立することを奨励、支援し、加工製造段階を中心とする産業協力から協同研究開発、マーケティング、ブランド育成などのサプライチェーンの高度な段階を中心とする産業協力への転換を推進する。企業ブランドのグローバル化を推進し、複数の投資主体が国際的な販売流通ルートを共同で構築、共有し、マーケティングモデルを刷新し、独立した代理販売ブランドを構築することを奨励する。自動車産業に関する国際機関、組織との交流と協力を強化し、業界仲介組織が重点企業、高等教育機関などを積極的に組織し、国際機関とともに地球環境基金などのグリーン発展応用モデルプロジェクトを申請し、新エネルギー自動車が再生可能エネルギーを利用する分散型インテリジェントモデル区を建設し、新エネルギー自動車と再生可能エネルギー、スマートグリッドが深いレベルで融合し、協同により発展する商業化普及モデルを模索し、全世界で模倣し、普及することが可能な経験および模範例を蓄積する。

4. 国際協力水準の向上を図る。 対外開放を継続的に拡大し、外資の利用および関連の先進技術や高度な人材の導入を奨励し、海外企業との戦略的協力を強化し、協力水準を全面的に高める。政策誘導を強化し、合弁・合作ブランドと中国ブランドの共同の発展を促進し、国際、国内の2つの市場を共同で開拓する。合弁・合作企業が研究開発への投資を強化し、現地化により開発した車種の比率を引き上げる。合弁・合作企業が内資企業と技術および人材交流を強化することを奨励する。

コラム8 海外発展プロジェクト

<p>多国・二国間ハイレベル協力の仕組みに基づいて、自動車産業協力戦略に関する枠組み合意を促進する。重点企業が国際協力を踏み込んで実施し、重点国において自動車産業団地を設立し、生産能力に関する国際協力を実施し、中国ブランド商用車と国際プロジェクトの「協同の海外進出」を推進することを奨励する。自動車産業対外協力連盟を結成するよう誘導し、自動車企業の海外発展に向けたサービス力を高める。</p>
--

<p>2020年までに、中国ブランド自動車の海外市場における影響力を著しく高め、先進国市場への大量輸出を実現する。2025年までに、中国ブランド自動車の世界市場シェアを大幅に引き上げ、グローバル化発展を実現する。</p>
--

四. 保障措置

(一) 体制・仕組み改革を踏み込んで実施する。

自動車産業管理体制改革を踏み込んで実施し、法制化管理を強化し、中国の国情および産業発展の規律に適した法制化、集約化、グローバル化された管理制度を構築、整備する。自動車の生産管理に関する法規を検討、制定し、生産企業、政府などの各方面の責任を明確にし、強力な懲罰的賠償制度および企業撤退の仕組みを構築、整備する。車両製品の無作為抽出調査検査制度を整備し、法規違反の生産販売行為に対する取締りを強化する。投資プロジェクト管理を段階的に整備し、事前の自動車生産企業および製品参入制度、事中の環境保護情報の公開、基準達成の管理監督および車両メンテナンス情報の公開、生産一致性審査制度、事後の欠陥製品回収および環境保護回収制度の「三位一体」の管理体系を実施し、事前の審査承認を簡素化し、事中、事後の管理監督を強化する。自動車製品公告管理の最適化および改革を図り、完成車企業の能力に関する要求事項を強化し、委託改装制度を実施する。企業情報公示システムを掘りどころとし、企業信用情報の収集・共有を実現し、自動車業界内企業の信用体系およびアフターサービス品質保証責任体系の構築の推進を加速し、製品品質の主體的責任および法的責任を果たし、多部門、地域を超えた信用連動賞罰の仕組みを構築する。内外資投資管理制度を整備し、合弁企業の持株比率の制限の秩序正しい撤廃を実施する。自動車生産能力のモニタリング・早期警戒を強化し、業界の生産能力の変化を動的に追跡し、生産能力情報を定期的に公表し、業界および社会資本の適正な投資を誘導する。

(二) 財政・税務・金融による支援を強化する。

さまざまな産業投資基金、自動車産業連合基金などの資金ルートを掘りどころとし、イノベーションセンター建設などの8大プロジェクトの実施を支援する。国家科学技術計画（特別プロジェクト、基金など）を通じて、先端技術、基盤基幹技術の研究開発を統一的に支援する。イノベーションおよび環境配慮・省エネルギーを指針とし、業界内企業が研究開発への投資を強化することを奨励し、営改増（営業税の徴収を増値税の徴収に変更する政策——訳注）の試行を全面的に実施し、消費税、車両購入税などの税制

政策を実施する。政策金融および商業金融の各自の優位性を積極的に発揮させ、自動車基幹部品、新エネルギー自動車、インテリジェント・コネクテッド・ビークルなどの重点分野の支援を強化する。中国輸出入銀行が業務範囲内において自動車企業の海外進出へのサービスを強化することを支援する。

(三) 規格体系の構築を強化する。

規格の基礎的および誘導的役割を十分に発揮させ、政府主導で制定した規格と市場が自主的に制定した規格の協同による発展を促進し、中国の国情に適応し、国際基準に合わせた自動車規格体系を構築する。自動車の安全、省エネルギー、環境保護などの分野における強制規格を整備し、規格実施効果評価の仕組みを整備する。完成車の安全と性能評価、インフラを重点とし、新エネルギー自動車の規格体系を最適化、整備する。機能の安全、ネットワークの安全を重点とし、インテリジェント・コネクテッド・ビークルの規格体系の構築を強化する。軽量化、スマートマニュファクチャリング、典型動作テスト、先進的な省エネルギー技術を重点とし、省エネルギー自動車の規格体系を整備する。車両の本質安全、省エネルギー・効率性、国際規格の厳格な徹底を重点とし、商用自動車規格の構築および徹底した執行を強化する。重点分野の規格総合体に関する研究を実施し、規格制定における企業の重要な役割を発揮させる。企業が国際規格を積極的に採用し、自動車に関する規格法規体系のグローバル化を推進することを奨励する。国際規格の制定に積極的に参加し、標準化組織の役割を発揮させ、優位性・特色のある技術規格を国際規格とすることを推進し、国際規格の制定における中国の発言力および影響力を高める。認証検査測定体系の構築を強化し、認証認可管理モデルを整備する。

(四) 人材組織の保障を強化する。

自動車に係る人材組織の構築の統一的計画および分類指導を強化し、自動車に係る人材の育成および管理モデルなどの特別研究を実施し、人材評価体系を整備し、人材に関するインセンティブの仕組みを整備し、人材流動の仕組みを最適化し、人材育成を取り巻く環境を改善し、国際競争力を有する人材制度を構築する。自動車専門学科の設置を強化し、教育機関のイノベーション型人材育成モデルの改革を図り、職業教育および技能訓練を強化し、普通教育と職業教育の人材流動ルートを構築し、科学技術をリードする人材、企業家、複合型などの非常に不足している人材組織の育成に注力し、芸芸に秀でた名匠およびハイレベルのエンジニアの育成を拡大する。職人の精神を発揚し、現代徒弟制を推進し、企業が注文式育成、現場見習実習などの人材育成モデルを推進し、育成と産業の需要を的確に組み合わせることを支援する。科学技術をリードする人材、自動車大国職人などの表彰制度を構築する。自動車産業に係る人材の需給のマッチング、双方向の交流、成長サービスなどの専門的で特色あるプラットフォームを構築し、さまざまな人材データベースを構築、整備し、人材の適正な流動および目的を定めた育成を

指導する。積極的、開放的、効果的な人材導入政策を実施し、グローバル人材の育成を促進する。

(五) 産業の発展環境を整備する。

自動車製品の省エネルギー、環境保護、安全、インテリジェント化水準の向上に注力し、道路交通安全に関する法規および規格を整備し、道路交通事故の詳細調査・研究の仕組みを構築し、事故車両に品質問題がある場合は、生産改装企業の責任を法により追及する。低速電気自動車の規範的管理に関する指導意見の検討および制定を加速し、不法な生産販売の問題を根源から解決する。自動車汚染の防止を強化し、自動車排出および自動車用燃料規格を科学的に制定し、厳格に執行し、自動車の排気ガスに関する検査・整備制度を構築、実施し、クリーン車用エネルギーの使用を奨励し、省エネルギー・環境保護型車種の使用を普及し、市場化手段により老朽化、高排出型自動車の淘汰・更新を推進する。都市計画および交通計画の先見性および科学性を高め、都市の道路、停車場、給油所、充電スタンド（ポール）などのインフラを適正に建設、配置し、安全・簡便で、円滑・効率的で、環境に配慮し、インテリジェント化された現代総合交通運送サービス体系の構築を強化する。カーシェアリングによる経済発展を促進し、自動車の使用効率を全方位的に高める。

(六) 業界団体の役割を発揮させる。

業界を熟知し、企業に近い業界団体の優位性を発揮させ、政府および業界のために双方向サービスを提供させる。業界団体はデータ統計、成果の鑑定、検査測定、規格の制定などの能力の構築を強化し、業界内企業の発展への寄与水準の向上を図らなければならない。業界団体は産業の発展動向を密接に追跡し、特別調査研究を実施し、企業の訴えに速やかに対応し、企業と政府を結ぶ架け橋としての役割を十分に発揮しなければならない。業界団体が公共サービスプラットフォームを整備し、業界の交流および境界を超えた協力プラットフォームを協調して構築し、共同で技術の難題に取り組み、先進的な管理モデルを普及し、自動車の科学技術に係る人材を育成することを奨励する。業界団体は業務制度を整備し、業界の資質を高め、業界の自律を強化し、無秩序で悪循環を生む競争を抑制しなければならない。

五. 計画の実施

各地域、各部門は自動車産業の構造転換・高度化、大国から強国への推進の重大な意義を十分に認識し、組織的指導を強化し、業務の仕組みを整備し、部門の協力を強化し、発展のための総合力を形成しなければならない。各部門は自身の職能に基づいて、業務計画を制定し、政策措置を詳細化しなければならない。各地域は当地の実情を踏まえ、具体的な実施計画を検討、制定し、各任務を確実に実施しなければならない。工業情報化部は関係部門とともに追跡分析および督促指導を強化し、年度検査と効果の評価

を実施し、目標任務について適時必要な調整を実施しなければならない。自動車産業の発展に関する国家級のシンクタンクを検討、設立し、産業の発展に関する先見性、戦略性などの重大な問題を検討し、重大な意思決定のためのコンサルティング、評価サービスを提供する。